

京丹後市立図書館

2025年度

おすすめの本

中学年
3・4年生向き

『あるひくじらがやってきた』（小学館）



ニック・ブランド/作 なかがわ ちひろ/訳

ある時、海からくじらがやってきて、まちの人たちは大混乱! プールで遊んだり、魚を食べつくしたり、好き放題のくじらを人々は追い出そうとするが、実は海にいられない理由があって…。ユーモア×SDGsの絵本。

『バスが来ましたよ』（アリス館）



由美村 嬉々/文 松本 春野/絵

目の病気から全盲になった男性が、地元小学生に助けられながら続けた、バス通勤。「バスが来ましたよ」その声はやがて、次々と受け継がれ…。温かな小さい手が人々の心を突き動かした、実話をもとにした絵本。

『こども武士道 自分に負けないころをみがく!』（日本図書センター）



齋藤 孝/監修

弱い自分を強くするには?ピンチを乗り越えていくには?人とよい関係をつくるには?困難にくじけないで強く生きるための知恵がつまっている本、「武士道」をこども向けに超訳。イラストを交えてわかりやすく紹介する。

『すごいゴミのはなし ゴミ清掃員、10年間やってみた。』（学研プラス）



滝沢 秀一/文 スケラッコ/イラスト 萩原 まお/イラスト

今、ゴミをめぐる課題が山積みになっている。どうしたらその課題を解決できるのか? 現役ゴミ清掃員でお笑い芸人でもある著者が、ゴミについて楽しく紹介する。身近なゴミから、地球の未来を考えよう。

『お蚕さんから糸と綿と』（アリス館）

大西 暢夫/著



糸や綿は、命あるものから生まれ、多くの人の手をへて、ここにある。滋賀県でただ一軒、「お蚕さん」を育てている養蚕農家、近所に暮らす糸とり名人、繭むき名人の仕事写真を紹介。「お蚕さん」の大切さを伝える。

『さいこうのスパイス』（PHP研究所）

亀岡 亜希子/作・絵



どんな料理を食べても「まずい」というリスのぼっちゃんのために、おいしい料理を作って欲しいとたのまれたオオカミのシェフ。毎日おいしい料理を作っても、ぼっちゃんは「まずい」としか言わなくて…。

『坂の上のパン屋さん』（文研出版）

尾崎 美紀/作 たかおか ゆみこ/絵



翔太はパンが大好き。学校の帰り道に「食パントウジロウ」という店を見つけた。店には「本日売り切れ」の紙切れが張られている。夏休みの日の朝、翔太が店に行ってみると、そこではおじいさんがひとりで作業をしていて…。

『タヌキの土居くん』（福音館書店）

富安 陽子/作 大島 妙子/画



ここは、さんかく山のふもとの小さな小学校。4月の新学期がはじまった月曜の朝、3年生のアカネちゃんが一番のりめざして教室に入ろうとすると、となりの席には…。のびのび明るく、あっとおどろく、楽しいお話。

『4年2組がやってきた』（くもん出版）

野村 一秋/作 ささき みお/絵



脳性まひのマーくんしかいないクラスに、4年2組の生徒たちが来ることになり、マーくんとの交流がはじまりました。授業参観日に、マーちゃんと2組のみんなが一緒に、ゲームと音楽をすることになり…。

『ぼくはくまですよ』（大日本図書）

フランク・タシュリン/文・絵 小宮 由/訳



くまが冬眠から目を覚ますと、そこは工場の中。工場の主任が、「おい、そこのおまえ、仕事はどうした!」と怒鳴ります。「仕事ってなんです? ぼくはくまですよ」と、くまは答えますが…。笑って、少しドキリとするお話。

無断での複製・転載を禁止します。本の内容紹介はTRC MARCより転載しています。

ほかにもあるよ おすすめの本

『みずとはなんじゃ?』
かこ さとし/作 鈴木 まもる/絵
(小峰書店)

『もしも宇宙でくらしたら』
山本 省三/作 村川 恭介/監修
(WAVE出版)

『のんきなりゅう』
ケネス・グレアム/作 インガ・ムーア/絵
中川 千尋/訳
(徳間書店)



貸し出し中の本は予約もできます。くわしくは職員におたずねください